

作品制作、そしてグローバル コンテストで得た貴重な財産

『野麦峠を越えた少女たち』で、2012年度KWN日本コンテストの最優秀作品賞を受賞した長野県松本市立奈川中学校。3年間、同じメンバーで作品を撮り続けた彼女たち。1年生の時には『水底の記念写真』で2010年度の最優秀作品賞を、2年生の時には『私が守りたいもの…』で自然環境賞を受賞しています。そんな彼女たちに、KWNへの参加を続けた3年間を振り返っていただきました。

3年間で一生の思い出になった

KWN 3年間を通して挑戦してきた作品作りで、どんな手応えを感じたか教えてください。

古畑 正直、具体的な実感はないんです。「諦めずに挑戦すれば、夢は叶う」ということを身をもって実感したということでしょうか。

小林 実は1年生のとき、最優秀作品賞を受賞してアメリカで開催されたグローバルコンテストの表彰式に招待されたんです。なのに部活の関係で5人全員では行けなくて……。私としては、楽しかっただけでなく他の国の生徒との交流で語学の必要性を感じたし、刺激も受けました。なので「次回は全員で行きたい」って話していて……。



少し人見知りが消したかも

古畑 でも2年生の時は、日本コンテストの最優秀作品賞には選ばれませんでした。

原教諭 受験生なので3年生になったら挑戦はしないだろう、これが最後だろうって思っていました。

小林 でもやはり、「絶対5人でグローバル表彰式に行きたい」って、先生とも話し合い、決めました。

忠地 カメラ、構成、編集などそれぞれが納得がいくまで、何度も見直しもしました。私はナレーションを担当していたんですが、前作はちょっと早口で

2010年度 最優秀作品賞/ドキュメンタリー賞
『水底の記念写真』



ダム開発で水底に沈んだ旧奈川村の水没地出身者の声や水没前の写真を通してダムの歴史と人々の思いを紹介。

2012年度 最優秀作品賞/未来をつくる少女賞
『野麦峠を越えた少女たち』



飛騨高山と信州奈川の境に位置する、野麦峠。苦しい家計を助けるため、この峠を越えた少女たちの思いを追う。



聞き取りにくかったんじゃないか、という反省点もあり、ゆっくり話すことを心がけました。

松澤 とにかく悔いを残したくなかった。

小林 私はカメラを担当したのですが、春から撮影を始めました。結果的に四季を通しての風景が撮れて良かったと思います。1年生や2年生の時は秋めいた風景ばかりだったので。

池田 撮影を早めたのは、受験にさしさわらないよという思いもありました。もちろん、大変なこともたくさんありました。でも撮影や取材をしていく中で、自分の身近にありながらも知らないことをたくさん知れたし、いろんな方にも出会えて、いい経験になりました。➤

➤ **松澤** 普通に生活をしていたら、会話をしないだろうという方々と話せたのは貴重な経験でした。

原教諭 彼女たちの成長としては、こうして“話せるようになったこと”が大きいと思いますね。1年生の頃は、とにかく人見知り激しくて、インタビューの機会が多かったのですが、地元の人に向き合った時に質問が出てきませんでしたから。

忠地 みんなで、中学時代を通して作品を作ることができたのもいい思い出になりました。結果も出せてうれしかった。もともと5人は小学生の頃からの幼なじみなんですが、絆もさらに深まりました。一生忘れられません。

原教諭 子どもたちの成長もそうですが、KWNの良さは、動画投稿サイト『Youtube』に作品を佳作までアップしてくれることも挙げられると思います。パソコンとネット環境があればいつでも見られるし、遠方の親類



「グローバル表彰式に参加して、英語をもっと頑張ろうと思いました」(小林さん)

➤ にもアドレスを教えるだけで見てもらえる。世界中の人たちも見てくれる。ウェブ上にいつまでも作品が残ることはありがたいですね。いつでも見返せますから。

小林 私、高校に入って何度か見返しました。

古畑 番組は自分たちの意見を自分たちの言葉で表現できるので、制作に取り組んだことだけで成長があったと思います。作り手ひとりひとりが、番組の中に自分の思いを込めれば、見る人にも伝わります。これから作る皆さん、頑張ってください！

一生の思い出になりました



【グローバル表彰式とは】

KWNに参加する世界各国の小中学校のビデオ作品を審査する「グローバルコンテスト」。グローバル表彰式は各審査を経てグランプリ候補にノミネートされた6作品が参加する。2013年度は29ヶ国622校から選ばれた6校がパリ・ユネスコ本部で表彰された。



ある学校的具体例を紹介します！

企画



どんなテーマで、どのような作品をつくりたいか、入念にディスカッションします。

取材



テーマに沿った取材こそ、いい作品の命。いかに現場の声が拾えるかが、作品のクオリティに影響します。

コンテ作り



取材をもとに、どのような映像が必要であるかを絵コンテに起こします。具体的なビジュアルをイメージ！

撮影



絵コンテをベースに実際にカメラを回します。同時にコメントも収録するのでシナリオづくりも大切です。

編集



撮影した映像を作品に仕上げていきます。取材映像の構成の組み立てや、効果音など吟味して完成させます。

完成!